

新城設楽普及だより

平成28年度 秋号

新城設楽農林水産事務所

農業改良普及課 北設楽郡設楽町田口字小貝津6-2

TEL: 0536-62-0546 FAX: 0536-62-1533

新城駐在室 新城市石名号20-1

TEL: 0536-23-2172 FAX: 0536-23-6010

メール(共通): shinshiroshitara-fukyu@pref.aichi.lg.jp

事務所ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/shinshiroshitara-nourin/>

ネット農業あいち <http://www.pref.aichi.jp/nogyo-keiei/nogyo-aichi/>



小中学校の新任教員が、地域の農林業について学びました。

8月9日に、新城設楽地域担い手育成総合支援協議会が、東三河教育事務所新城設楽支所と共同で「農林業体験研修会」を開催しました。

この研修会は、小中学校の新任教員に地域の農林業に関する知識と理解を深めてもらい、更に児童や生徒と接する中で活かしてもらおう事を目的として毎年開催されており、今年は12名が参加しました。

当日は、設楽町名倉地区にて、午前シクラメンとトマトの生産ハウスを見学し、午後に山林での間伐作業体験を行いました。講師を務めた農業経営士と指導林家からは、経営や栽培技術に関する話だけでなく、「次代を担う子供たちが地元の農林業に興味を持てるように育ててほしい」という熱い思いも語られ、参加者は熱心に聞き入っていました。

新任教員からは「地域の農林業の意義を子どもたちに伝えられるような授業や学級活動を考えたい、それが教師である自分たちの役割だ」と、研修の体験を授業に活かしていく意気込みが聞かれました。



シクラメンを生産する農業経営士のハウスを見学



トマトを生産する農業経営士から地域農業の意義について講話を聞く

○新城設楽地域担い手育成総合支援協議会とは

農林業の担い手確保と育成を目的に、様々な事業に取り組んでいます。

構成員は管内各市町村、JA愛知東、農林業公社しんしろ、農業経営士協会新城設楽支部、新城設楽農林水産事務所です。

⚠ 農業機械の盗難に注意しましょう! ⚠

愛知県内では、平成28年に入ってから、7月25日までの間に24台の農業機械(主にトラクター)が盗難されています。盗難対策が実施できているか、下のチェック項目を今一度確認してみましょう。

- 農業機械は倉庫へ格納していますか?
- 倉庫は出入り以外、施錠していますか?
- 盗難防止器具(二重施錠、センサーライト、警報器等)を活用していますか?
- 所有する農業機械の識別番号(機体番号)を記録していますか?



機械盗難は他人事ではありません。時には自分が泥棒になったつもりで管理状況を確認しましょう。盗難対策装置の設置によって被害を防止できた事例もあります!



「新城設楽普及だより」や「農業情報」がパソコンやスマホからも見られます!

新城設楽農林水産事務所ホームページの「管内農業ニュース」では、毎月1報ずつ新城設楽地域の産地の動きやイベントなどを紹介しています。本紙「新城設楽普及だより」もフルカラーで見ることができます! 「新城設楽 農業ニュース」でぜひ検索ください!

新城設楽 農業ニュース



また、愛知県運営の農業関係情報サイト「ネット農業あいち」では、新城設楽だけでなく、県内各地の「農業情報」や、新品種・新技術の紹介記事などを見ることができます。新規就農者の紹介記事「フレッシュマン」では、県内各地域のこれからを担っていく若手農業者を掲載中! こちらもぜひ見てみてください!

ネット農業あいち



○農業研修のお知らせ

- カーネーションの高品質生産
H28.11.17(木) 13:30~16:10
(JA愛知中央碧南営農センター)
- モモ果肉障害の原因と対策
並びに消費拡大の取組
H28.11.28(月) 13:30~16:00
(農業大学校)
- 農業経営の上手な継承について
H29.1.19(木) 13:30~16:00
(農業大学校)
- パソコン農業簿記中級
H29.1.25(水) 9:00~16:30
(農業大学校)

※参加を希望される方は、開催日の2週間前までに、農業改良普及課へお申し込みください。お問い合わせだけでも気軽にどうぞ!

夏秋トマト新規就農者、1年目をがんばってます！

JA愛知東トマト部会では、今年度6名の新規就農者が、新城市、設楽町、豊根村にて、トマト栽培を開始しています。

新規就農者のほ場では、4月下旬から定植が始まり、6月から初めての出荷がスタート。4月から7月にかけては天候にも恵まれ、病害虫の発生も少なく、順調に出荷を迎えられました。

7月下旬からは出荷最盛期を迎え、収穫に追われて管理作業の時間を取りにくい、最も多忙な時期になりました。

9月に入って、トマトの生長点を摘む芯止めが始まり、11月から12月の収穫終了に向けた作業が行われています。

秋を迎えて、病害虫の発生しやすい時期となりましたが、新規就農者の皆さんは病害虫防除や樹の管理など、終盤もたくさんのお荷が出来るようがんばっているところです。

農業改良普及課では、新規就農者の経営安定のために、今後も引き続き支援していきます。



先輩農家に助けられつつ、定植中！（新城市）



初出荷に向けて順調に生育中のトマト（新城市）

アザミウマ対策に手応えあり！新城のイチジク出荷開始

8月24日（水）にJA愛知東いちじく研究会の出荷目揃会が行われ、今年もいちじくの出荷が始まりました。

目揃会では出荷規格の説明後に、アザミウマ被害果の一斉検査が行われました。今年はアザミウマ類の発生量が多く、合格が少ないことが危惧されていましたが、予想より多くの生産者が出荷基準を満たし、合格することができました。



出荷規格を確認する生産者

農業改良普及課では、増加するアザミウマ類の被害を抑えるため、2年前から反射マルチシートや、アザミウマ類に強い品種「サマーレッド」の導入検討を進めてきました。

今回一発で合格した農家はこれらの対策を実践していて、生産者からは「資材・品種とも、こんなに効果があるとは」と驚きの声が聞かれました。

農業改良普及課では、これからもアザミウマ類に負けないイチジク産地づくりを続けていきます。

新城設楽地域の4Hクラブが園児収穫体験交流会を開催しました！



イチゴ収穫体験を楽しむ園児たち（新城市）



ミニトマト収穫を体験する園児たちと引率役を務めるクラブ員（設楽町）

新城設楽地域の4Hクラブでは、地元のこども園、保育園の園児を対象に収穫体験交流会を開催しています。子どもたちが農業に興味を持てるように、という思いから行っているこの活動は、地元農家の協力にも支えられて、毎年恒例の行事になりつつあります。

6月7日（火）に新城市4Hクラブがイチゴ収穫体験を、6月14日（火）に北設楽4Hクラブがミニトマト収穫体験を開催しました。園児たちは赤く色付いた果実に触れ、お店に並んでいるものとはまた違う、生産現場の農産物を楽しんでいました。

収穫体験の後には交流会が行われ、園児たちはクラブ員らと楽しく触れあっていました。農業改良普及課では今後も青年農業者による、農業の魅力伝える地域貢献活動を支援していきます。



園児たちと交流を深めるクラブ員（新城市、設楽町）

4Hクラブでは、一緒に学習活動・地域貢献活動を行うクラブ員を募集しています！
加入したい方、興味のある方は、農業改良普及課までお問い合わせください。

侵入防止柵の効果あり?!新城設楽地域の野生獣被害額は年々減少

新城・北設広域鳥獣害対策協議会では、侵入防止柵の設置など、野生獣による農産物被害を防ぐために対策を進めています。

新城設楽管内における、野生獣による農産物被害額は年々増加していましたが、平成24年をピークにそれ以降は減少しており、対策の効果が現れていると考えられます。特に、侵入防止柵の設置が進んでいる新城市、設楽町では被害額減少が顕著です。

農業改良普及課では今後、捕獲を含めた地域ぐるみの獣害対策を進めて、農産物被害の減少に引き続き取り組んでいきます。

○新城・北設広域獣害対策協議会
構成員は各市町村、JA愛知東、生産者、猟友会、林業関係者、シビエ等利活用業者、新城設楽農林水産事務所です。

